

仲多度・善通寺支部 活動報告

1 はじめに

本支部では、ICT教育機器や校内LAN等を日常的にどのように活用して「わかる授業」に役立てていくかを実践し、その結果を相互に共有していくことを目的としている。依然として、本支部の各中学校のICT教育機器や校内LAN等の整備実態は様々であるが、よりよい教育活動を目指すことを共通目標として、各中学校の実態に合わせた実践研究を進めているところである。

2 研究の経過

(1) 4月18日(月)

香中研仲善支部総会

場所： 善通寺市立西中学校

内容： 研究組織・研究主題

研究内容の決定

(2) 7月27日(水)

香中研仲善支部教科外研究会

場所： まんのう町立満濃中学校

内容： 各中学校の取り組みの発表

デジタルコンテンツについて

3 実践事例

(1) 授業での実践

① 国語



【電子黒板の利用例(国語科)】

聞き取りの力を養うために画像提示卓を用いて電子黒板で生徒に絵本の画像を

見せながら絵本の読み聞かせを行った。

また、ワークシートを電子黒板に映し出し、学級全体の前で発表や書き込み、訂正などを行った。

② 数学

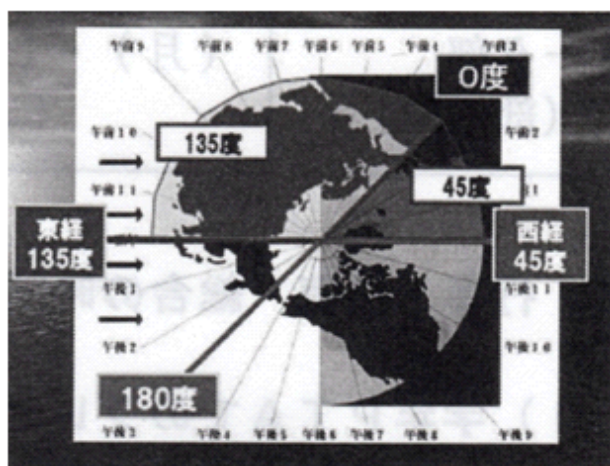
パソコンを利用し空間図形の特徴をいろいろな角度から発見し、図形の特徴をつかむ。

「方程式の利用」の授業では問題文章から方程式を作り出す過程の説明のために電子黒板を利用した。

③ 社会

歴史的分野では、1時間の内容がとても多く深まりのない授業になってしまう。そこで、小学校で学習した内容を画像を使って再確認することで、生徒に十分考えさせたり作業させたりする時間をとることができた。

地理的分野や公民的分野では、電子黒板・プロジェクターやプレゼンテーションソフトを利用することで多くの資料を効率よく提示することができ、また、ワークやノート整理の時も板書の時間を短縮することができた。



【画像の利用(社会科)】

時代の変化や分布などは、画面を使うことで視覚に訴えることができ、新たな

発見などをする機会を持たせることができた。

④ 理科

実験や観察の補足として、自分たちが行うことができなかつた実験の様子や実際に見るだけでは観察できないものなどを電子黒板に映し出す。方法としては、事前に用意した写真や映像をプレゼンテーションソフトを使って説明したり、インターネット上のデジタルコンテンツを利用したりした。



【デジタルコンテンツの利用（理科）】
理科ネットワークWebページより

⑤ 英語

生の英語に触れるために海外映画を観賞してセリフを聞き取ったり、DVDやビデオ教材を活用したりしている。さらに、洋楽を聞き、歌うことで発音を学習している。

⑥ 音楽

実際の音楽を聴きながら、作曲用のソフトを利用し各自で作曲や編曲をして、創造的に表現する能力を育てた。

⑦ 美術

プレゼンテーションソフトを使い浮世絵の完成していく様子を実際に順を追って表し、わかりやすく説明した。

コンピュータグラフィック等の機能を活用して、制作活動を行った。

⑧ 保健体育

体操競技や武道等で自分たちの活動の

様子をビデオカメラを使って撮影し、TV等に映し出すことで、技能の向上に役立てた。

⑨ 技術・家庭

製図の学習ではプロジェクターとタブレットパソコンを活用して普通教室で授業を実施した。製図図法ツールを用いて書き方のアニメーションを提示したり、間違いやすいポイントの説明に利用したりした。

エネルギーについての学習では発電方法やその特徴等をWebページのデジタルコンテンツを利用して生徒自らが調べまとめることができた。



【デジタルコンテンツの利用（技・家）】
四国電力Webページより

簡単なプログラムやマルチメディア作品の制作を行った。

情報モラル学習ではデジタルコンテンツを利用し、実際にどんな危険や犯罪があるのかを学習することができた。

(2) 特別活動・道徳・総合的な学習の時間での実践

① 生徒会活動

生徒会や委員会活動において、自分たちの活動報告や呼びかけなどにプレゼンテーションソフトでスライドを制作させ、集会でプロジェクターを用いて映し出し

発表した。

毎月の全校目標や委員会目標をワープロソフトでまとめさせ、掲示物を制作した。

昨年の運動会の創作ダンスの映像を見せることで意欲化を図る。生徒は音楽DVDを参考にダンスを考え、また、ビデオカメラを使うことで客観的に自分たちのダンスを見ながら創作活動に取り組めた。

② 生徒指導等

生徒が携帯電話の誤った利用の仕方によって被害を受けないように警察の方を招いて携帯防犯教室を行った。その中でドラマ形式の映像をプロジェクターで映して出会い系サイトの恐ろしさを訴えた。

同様に警察の方による交通安全教室では、自転車の安全な運転について自転車シミュレータを用いて運転者の視界の映像をプロジェクターで大きく映し出し、自転車運転中に注意するポイントを全校生に指導した。



【交通安全教室】

喫煙防止教室や薬物乱用教室でも画像や映像をプロジェクターを通して全体に見せることで指導に役立てた。

清掃活動や日々の生活において模範となる生徒の活動の様子をプロジェクターを通して全体に紹介し、生徒の意欲化を図る。



【薬物乱用防止教室】

③ 総合的な学習の時間

福祉体験学習、職場体験学習、修学旅行などの際、ワープロソフトを利用して体験の概要や感想をまとめ、冊子作りを行った。

人権劇の広報担当生徒が手作りポスター制作を行う。また、音響・音楽担当生徒がパソコンを使って音を制作・編集し、舞台音響にもパソコンを利用した。

年度末にワープロソフトを利用し文集作りを行った。

4 成果と課題

大型テレビや電子黒板の導入、プロジェクターの機能の向上、校内LANでのネットワークの共有化などICTを用いた教育環境は整いつつある。しかし、各教科でICT教育機器を使っている授業実践が行われてきているが、まだまだその頻度は少なく、個人差があるのが現状である。職員一人一人がスキルアップをさせていくために、各校で研修を重ねる必要がある。また、環境が整い情報の扱いが便利になった反面、プライバシーの保護・著作権・情報漏えいなどの危機管理も必要と考えられ、この点についても研修が必要である。何より、どの職員も積極的にICT機器を利用できるように更なる環境整備を部会から呼び掛けていきたい。